



2017年12月16日「白聖芸術祭」打ち上げ

会場地図



文房堂ギャラリー

〒101-0051 千代田区神田神保町 1-21-1 文房堂ビル 4F Tel: 03-5282-7941 (会場直通: 会期中のみ使用可能) Tel: 03-3291-3445 (ギャラリー事務所) http://www.bumpodo.co.jp/ *ギャラリーへはエレベーターを利用。 <アクセス>「神保町」駅(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、新宿線) A7 出口、徒歩3分/JR「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口、徒歩10分

<2018年度在京白聖会クラブ活動スケジュール>

- 10月19日(金)「在京白聖会ゴルフ大会」(会場: ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎/茨城県龍ヶ崎市) <1面>
● 12月10日(月)-15日(土)「白聖芸術祭」(会場: 文房堂ギャラリー/千代田区神田神保町) <1面>
● 12月15日(土)「白聖歌会RURU」(宮沢賢治と五行歌の朗読会: 文房堂ギャラリー) <4面>
● 2019年2月3日(日)「歌の祭り」(会場: ブルーティ Music and Chinese Tea / 渋谷区笹塚) <8面>
● 2019年3月2日(土)「白聖メディカルクラブ総会」(会場: 東京ドームホテル/18:00 ~ /後楽園) <4面>
● ル・サロン・ブラン(芸術鑑賞クラブ) ※計画中。HPやメールでご案内予定です。

※ご質問、お問い合わせは事務局 03-6404-6379へお気軽にどうぞ。

2018白聖芸術祭

11回を数え、新たなステージに羽ばたく! 「白聖芸術祭」 12月10日(月)~15日(土) 文房堂 神田神保町で開催

「白聖芸術祭」は今年で第11回開催を迎えます。絵画・書・彫刻・陶芸・写真などの展示のほか、朗読や演奏・歌唱・文学講座などもあり、在京白聖会の年末恒例イベントとしてすっかり定着しました。10年ひと昔といえますから、新たなステージに向けて、ともに羽ばたきましょ。多くの会員の参加、参集をお待ちしております。

開催概要

- ▼開催日: 平成30年12月10日(月)~15日(土) 11:00~18:30(最終日は15:00)。*撤入は12月9日(日) 10:00から。
▼会場: 文房堂ギャラリー(左記)
▼出展料: 一人2千円(2点まで)

在京白聖会報

第45号

平成30年9月23日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会 在京白聖会 (事務局) 〒143-0015 東京都大田区 大森西 2-17-4-201 TEL: (03) 6404-6379 FAX: 直通 (03) 6404-6379*00 E-mail: hakua_office@pmp-jp.com (http://www.hakua.org/tokyo/)

題字: 浅沼 一道

在京白聖会ゴルフ大会

参加者募集 10月19日(金) ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

申込み締切りは9月28日(金)です。今回からセルフも選択可能になりました。参加ご希望の方は今すぐお申し込み下さい。

開催概要

- ▼開催日: 平成30年10月19日(金)
▼会場: ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
▼申込み先及び申込み締切り: ①氏名 ②卒業年次 ③連絡先住所 メールアドレス、電話番号 ④チームの場合代表者氏名 ⑤送迎バス利用の有無を明記の上、9月28日(金)までに郵送メールまたはFAXで担当幹事までご連絡下さい。(先着順)
▼申込み先: 本年の担当幹事: 金山文彦・間瀬隆男さん(S36卒)

で。2点以上は1点に付き、プラス1千円。グループ展出展料もこれに準じます。イベントは1時間2千円(準備、撤収時間含)。
▼懇親会: 搬入日の12月9日(日) 17:00から懇親会を行います。会費は4000円程度(会場未定)。
▼申込締切: 11月11日(日)。
▼申込&問合せ先: 三浦千波さん(S50卒)。〒211-0035 川崎市中原区井田2の15の50 電話(044) 797-2170
※なお、詳細は申込み締切り後各出展(出演)者にご案内します。
<芸術祭 期間中イベント>
期間中、会場では会員による様々なイベントが行われます。



昨年の優勝チーム(S36 他混合チーム/今回幹事です)

- ① 郵送: 〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町525-1東の街3301(間瀬隆男さん宛)
② メール: mase@g8.so-net.ne.jp 間瀬
③ Tel: (090) 3876-8968 間瀬 Fax: (042) 27-7841 金山文彦さん宛
※実施要項等 詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。

「白聖芸術祭 歌の祭り」
▼12月13日(木) 14:00~16:30
歌の祭り有志によるピアノ伴奏による歌唱です。
「白聖歌会RURU 野口田鶴子さんによる宮沢賢治と五行歌の朗読」
▼12月15日(土) 13:00~14:00
今回の野口田鶴子(S40卒)さんの宮沢賢治の朗読は「注文の多い料理店」です。
「玉澤健児さんのギター弾き語り」
▼12月15日(土) 14:00~15:00
賢治と五行歌朗読のあとは玉澤健児さん(S43卒)のギター弾き語り。名曲の弾き語りでも最高潮に盛り上がったところで、「白聖芸術祭」は打ち上げ・閉幕となります。

HOT TOPICS

「先輩を囲む会」(第6〜7回抄録)

「第50回在京白聖会総会」担当幹事学年のS61は、2017年9月より2018年3月まで全7回にわたり、プレイベントとして、「先輩を囲む会」を運営してきました。トークショー形式の交流会で、仕事や業界の裏話、学生時代の武勇伝など内容も多彩。今号は第6〜7回をお伝えします。

第6回 木村健人さん



S61卒(株)ニースサービス・センター
代表取締役社長 名古屋大学非常勤講師
■日時:2018年2月24日④
■会場:新宿区生駒町地域センター

これからのキャリア形成

長年企業で人事に関する仕事をしていた木村さんは、
① 50歳を迎えた同期世代のセカンドキャリア形成
② われわれとは違ったものになるであろう、子ども世代のキャリア形成

の2点をプレゼンテーションのターゲットに掲げ、自身の経営コンサルタントの経験など踏まえ、グローバル化、人生100年時代にむけたキャリア形成について語ってくれました。

キーは「強み」と「好き」

キャリア形成は本来十人十色であるべきなのに、現在は一律のお仕着せの研修をしている点に問題があると木村さんは指摘します。大事なことは、「その人自身が中長期的にどうありたいと思っているか」で、キー概念はその人の「好き」と「強み」。この2軸を中心に、社



第6回 先輩を囲む会

第7回 みやこうせいさん



S31卒 エッセイスト、フォトアーティスト
■日時:2018年3月31日④
■会場:文京シビックホール

ルーマニア・マラムレシユと

会への貢献と夢の実現をとらに目指せるキャリアを構想していくことが大切とします。参加者は全員、「自分の強みを認識し大切に伸ばそう」と考えられた木村さんのオリジナルのワークシートを使ったグループワークを体験。集中力と好奇心で、クオリティの高いワークシヨップが展開されました。(及川謙)

の出会い

みやさんの原点は、原ヨーロッパと呼ぶべき暮らしと風景が残っていたルーマニアの村マラムレシユとの出会い。岩手の沿岸や県北地域と変わらないフォークロアの世界に魅了されたみやさんは、それから52年通い続けて、次の訪問が180回目になるといいます。

温故知新

内外に幅広い人脈を築き、幅広い知識と教養を持つみやさんにはたくさんの素敵な言葉をいただきました。その一つがフランスの人類学者レヴィ・ストロースの「全ての現象は過去にある」。ドイツでは公教育で子供たちに過去の戦争の歴史をきちんと教えているが日本はそれをやっていない。歴史を検証する場がない。このことが日本の将来の大きな不安材料であると警鐘を鳴らします。ほとぼるパシヨンに圧倒された一日でした。(近藤裕恵)

白聖メデイカルクラブ

在京白聖メデイカルクラブの代表幹事である柴孝也氏(S33卒)が永年にわたる衆議院議員への健康管理の貢献に対して、平成30年3月29日、感謝状が贈られました。その記事が翌3月30日付岩手日報に掲載されましたので、以下に要旨をご紹介します。

釜石出身・柴医師に感謝状

釜石市唐丹町出身で衆議院医務室の内科医を42年間務めた、東京慈恵会医科大学客員教授の柴孝也医師(78)は東京都港区に29日、大島理森衆議院議長に感謝状が贈られた。議員宿舎に住み込み、昼夜を問わない診療や首相外遊への随行など、激動の政界を影ながら支えてきた。守秘を徹底する姿勢に多くの議員が信頼を寄せる。議員のほとんどが「後輩」となった今も「みんなタフだけれど、やつぱり心配」と、今後も愛を持って心身の健康を見守り続ける。

衆議院本館2階の事務総長室で感謝状贈呈式を行い、向大野新治衆議院事務総長が「42年間ありがとう(ございませう)」と柴医師に感謝状を手渡した。柴医師は「いろいろなことがあったが、私としてはとても楽しかった」と笑顔で応じた。



総会での柴孝也先生(写真上/右)と感謝状の写真(写真左)

柴医師は同大卒業後の1975年

10月から約30年間、東京都千代田区九段の議員宿舎に住み込んで議員の健康管理を請け負った。週2回の外来診療に加え、国会審議が夜通し続くときは体調不良者に備え待機した。

東京ドームの産業医も約50年間務め、巨人の長嶋茂雄さんや王貞治さんの現役時代も試合の度にビタミン注射などで支えた。携帯には仕事を通じて親交を深めた友人との写真が数え切れないほど入っており、「一番良かったのは、いろいろな人とながらぎを持ってたこと」と大勢に愛された医師人生を振り返る。(以上「岩手日報」より)

柴先生のこれからの活躍も期待しつつ、後輩の我々ももっと頑張らねばと身の引き締まる思いでおります。(文責:在京白聖メデイカルクラブ事務局志和成紀・S58卒)



第7回 先輩を囲む会

2018 総会報告

学びと遊びー大人の文化祭

在京白聖会総会50回記念式典も

日時：平成30年5月19日(土)

講演会・総会15:00、懇親会17:00

会場：ホテルラングウッド(日暮里)



さんさ踊りで最高潮に達した“大人の文化祭”

5月19日(土)、第50回在京白聖会総会を無事終えることができました。ありがとうございました。ありがとうございます。準備段階から、みなさまにご指導、ご支援、激励いただき、幹事の任を果たすことができたことを、61一同心より感謝申し上げます。

折からの雨の予報が一転、天候にも恵まれ、新卒者の方十数名を含む、約330名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。61は「学びと遊びー大人の文化祭」をテーマに準備を進めて参りました。昨年9月から連続開催した「先輩を囲む会」もその一環です。特に、若い世代の同窓生の方に魅力を感じていただける在京白聖会のありようを、私たちに模索して参りました。



「人生100年時代」を生きる」をテーマに個性あふれる61年卒メンバーが語り合ったシンポジウム。出席者は左から木村健人さん、赤坂環さん、松田修一さん、木村剛さん、久保健一さん(司会)。

当日は、パネルディスカッション、舞台に展示と、61ならびに同窓のみなさまの多大なご協力のもと、精一杯のおもてなしをさせていただきました。ご来場のみなさまそれぞれに何かを残すことができたとしたならば、嬉しい限りです。



50回式典では歴代会長および事務局長が表彰された



61年卒・林崎俊介さん(MURASAKI)の石割桜のイラストをあしらった総会パンフの表紙

また、61より、在京白聖会の100年に向けて、「未来委員会」設置の構想を提示させていただきました。これは、誰でもが参加できるオープンな議論の場であり、在京白聖会について腹藏なく話し合えることを意図したものです。ありがたいことに、戸田新会長のご了承、会場から多くのご賛同の声をちょうだいしました。深く感謝いたします。年次を超えて広く英知を募り、また、他校の優れた実践



61年卒幹事の皆さん、どうもありがとうございました



過去最多の新卒者含め学生OB・OGも多数参加

などにも学びつつ、若い世代の同窓生をも惹きつける、リニューアルの端緒となることのできれば幸いです。引き続き、みなさまのご指導、ご支援をお願い申し上げます。あらためて、ありがとうございます(昭和61年卒及川謙)

在京白聖レディス会

ゲストに山田武秋さん(S42卒) 6月23日(土)於：銀座サンミ

第14回在京白聖レディス会が6月23日(土) 12時から、銀座の「サンミ 高松本店」で開催されました。ゲストは国際啄木学会評議員で在京白聖会前事務局長の山田武秋さん(S42卒)。

山田さんは啄木の「一握の砂」という言葉の由来など意欲的な研究を発表。今回は「出版と啄木の今」のテーマで、出版不況の中で出版点数が増えている現状や、啄木研究の最先端についてお話いただきました。啄木の魅力を再発見した一日でした。



第14回在京白聖レディス会(2018.6.23 銀座 サンミ 高松本店)



撮影：紀章 (S56卒)

在京白聖メデイカルクラブ

19年3月2日(土)総会開催
於：東京ドームホテル18:00

在京白聖メデイカルクラブは2019年3月2日(土)18時から、東京ドームホテルにて総会を行います。詳細は後日、メール等でご案内します。多くの参加をお待ちしております。

白聖歌会RURU(ル)

投稿歓迎「白聖歌会の部屋」
ネット歌会&朗読など

白聖歌会はネット歌会として会員が「白聖歌会の部屋」に五行歌や短歌などの作品を定期的に発表しています。この「白聖歌会の部屋」は、どなたでも自由に作品を投稿できます。(e在京白聖会)サイトよりリンクでアクセス。http://9324.teacup.com/gogyouka/bbs)

また、白聖歌会は作品展示や朗読(上面参照)、オフミーティングなどを随時行っています。

ル・サロン・ブラン(芸術鑑賞クラブ)

「ル・サロン・ブラン(芸術鑑賞クラブ)」は、音楽や美術などの芸術鑑賞、陶芸体験などを行っており、現在企画中です。ネット等でご案内しますので、楽しみにお待ちしております。



第50回在京白聖会総会参加者330人全員の集合写真
(2018年5月19日 ホテルラングウッド・ラングウッドルーム)

「50回記念式典」&「50年記念史」

半世紀という節目の第50回総会では、記念式典が行われ、発足以来50年の歴史を振り返るとともに、会の運営に献身されてきた歴代会長、および事務局長を顕彰する表彰式が行われました。

この記念式典をはじめ、在京白聖会50年の歴史を記録した「50年記念史」の編集も着々と進んでおります。

「未来は歴史の中に横たわっている」といわれます。在京白聖会の歴史も、多くの困難に直面しながら、幅広い人材の知恵と白聖魂で克服し、継承してきました。みやこうせいさんの「温故知新」は「50年記念史」の意義を端的に表しています。楽しみにお待ち下さい。

未来委員会

未来委員会は、在京白聖会の第100回に向け、今回の幹事年次61卒が中心になり、在京白聖会のさらなる発展を目指す会です。同窓会の運営継続は、現在どの高校・大学も直面している大きな課題です。次代を担う若手が参画して意見交換が活発に行われ、次の50年の歴史を継承する建設的な提唱がなされるよう、ご理解と応援をお願いします。







第19回 歌の祭り (2018.8.5 笹塚ブルーティ)

ご参加いただきどうもありがとうございます。来年もお会いしましょう！

「歌の祭り」参加者募集

第20回「歌の祭り」
2019年2月3日(日)開催

第19回「歌の祭り」が8月5日(日)午後12時より笹塚ブルーティで開催されました。31年卒から63年卒までの幅広い年齢層の24名(初参加の3名を含む)の参加で盛り上がりました。シャンソンからカンツォーネ、オペラのアリアからポップス、演歌、民謡まで多彩な曲目に加え、今年はフルート、アルトサクソフーンのソロ、ピアノ弾き語り3名が加わって多彩なステージになりました。

また、プロの声楽家として活躍しておられる大津さんも参加し、すばらしい歌唱を披露して下さいました。

次回、第20回歌の祭りは左記の通り。お気軽にご参加下さい。

開催概要

日時：2019年2月3日(日)
受付開始：11時30分
開演：12時～17時
会場：笹塚「ブルーティ」
music and chinese tea

渋谷区笹塚1-61-8

電話：03-3331-9264

会費：5千円(食事代3800円+飲み物代1200円)

エントリー曲数：一人2曲以内
申し込み先：41年卒 高橋利宏

〒174-0083 板橋区中台3-27-1
G-801 電話(090-6476-7109) Mail:toshi.takahashi@i.softbank.jp

締切：2019年1月10日(木)

ア・ラ・カルト

●須藤鷹千代さん(S37卒)

ビル管理やシェアハウスの運営を手がける第一恒産(東京中央区/S37卒・須藤鷹千代さん)は、世界に羽ばたく人材を支援するため、盛岡一高後輩の大学生を対象に自社のシェアハウスを賃料免除で提供する奨学生制度を創設しました。受け入れは原則2年間で、年4人程度。受け付け・選考は盛岡一高を通して行われます。

編集後記

在京白聖会総会は50回を迎えました。幹事が50歳当番制になって36年。毎年新しい風が吹き、他校も羨む活況を創出してきました。半世紀の継続は、絶えざる否定と創造の精神で時代をリードする人材を輩出してきた白聖精神にあったといつもも過言ではありません。様々な分野の同窓が世代や所属、枠組みを超えて一堂に会し、腹藏のない交流ができるのが同窓会の魅力であり、ダイナミズム。多様性が求められるこれからの時代、その役割はますます高まっていくことでしょう。歴史に学び変えるべきは変え、継承すべきは継承する。白聖伝統の先取の精神は次の100年に向け、力強い一歩を踏み出しています。▼今年4月に外山浩子さん(S32卒)、8月に浅沼榮一さん(雅号「二道」S27卒)が亡くなられました。外山さんは在京白聖会20年史の編集委員で、一時期名簿の录入・管理を一手に引き受けていました。在京白聖会初の女性副会長です。浅沼さんは書家として有名で、この会報や在京白聖会36年史のタイトルを揮毫していただきました。花巻東高校のユニフォームの肩の「二若手」の文字も浅沼さんの揮毫です。両先輩はこれからも空から本会を見守ってくれることでしょう。心よりお悔やみ申し上げます。(Y)

お願い

平成30年度在京白聖会会費未納の方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円のお振込みをお願いいたします。なお、すでにお支払い済みの方に振替用紙が届きましたら、ご容赦下さい。